



但馬の春本番を告げる

お走りまつり

威勢よくみこしを揺らしながら大屋川を渡る氏子たち

CONTENTS - おもな内容 -

養父市若者定住奨励金制度の概要、
養父市議会議長・養父市消防団長選出、
チャイルドシート補助金の案内 2 ~ 3
字の区域が変更になりました 4 ~ 5
まちの話題 6 ~ 7
公民館情報 8 ~ 9
お知らせ、連載コーナー 10 ~ 13
戸籍の窓、わがやのアイドル、
くらしのカレンダー 14 ~ 15
ふれあいネット6月の番組表 16

春本番を告げる「お走りまつり」が4月17日、18日に行われました。但馬の奇祭として知られるこの行事は、江戸時代には行われていたとされる伝統の祭です。

17日、午前9時に養父神社を出発したみこしは、正午過ぎに「川渡御」が行われる小城橋に到着。橋の上や両岸から約400人が見守る中、担ぎ手たちは「ハットウ、ヨゴザルカ」のかけ声を張り上げ、みこしを前後に揺すりながら、威勢よく渡りきりました。

その後、^{いつくしま}厳島神社（三谷）で^{いつき}齋神社（長野）のみこしに出迎えられ、建屋で1泊。翌18日、2つのみこしは別れを惜しむかのように激しく練り合い、観客から盛んな拍手を受けていました。